

一次産業にグッドデザインを 里山アートプロジェクト「アグリデザイン」

目的

自然と対峙する一次産業の実態を少しでも理解、体験し、農業に於けるデザインの課題を見出し、実践と研究に取り組む事。

課題

地域の産業に貢献できるように、地元農産物で、魅力ある加工品を開発し、デザイン思考で売れる商品に仕上げる事。

体験実習 豊栄ネギを使ってネギベーゼのボトル入りを企画、販売する

10月5日

専門家の講義

料理研究家 黒田千晴先生(3・4限/2コマ)

日本の農業の実態と食卓に届くまでの流通、食料自給率、農薬や事業継承問題などのお話をさせていただきました。



10月6日

企画・デザインの試作

～22日

4グループにわかれ、まず現状の知見で企画デザインしてみました。このことによって、圃場で収穫、加工実習という現場を体験した後の思考と対比することが出来ました。



類似する市販品を手に入れ、商品表示、成分表示等のポイント数や規程を学びました。



このグループはネギのキャラクターを沢山作り、買う方の好みでラベルに貼ってデザインが完成するという企画を考えました。



ケースでボトルを包み内側に商品説明を入れたり、ネギの家族を想定し、キャラクターデザインしたり、それぞれグループが工夫しました。



10月23日

収穫・加工体験

東広島市豊栄町乃美のネギ畑で、各自クワをお借りし、10kgのネギを収穫しました。



移動は市大バスで。

- 9:00 大学発
- 10:30 中間農園着／収穫
- 12:00 トムみるくファーム／昼食
- 13:00 トムみるくファーム／ネギペース作り
- 16:30 トムみるくファーム発
- 18:00 大学着





トムミルクファーム内加工場での
ネギベーゼの製造体験。加工品
指導は(株)賀茂プロジェクトの
梶森氏。



各グループにつき
10個製造



3種類のレシピを考えていただきました。入念に殺菌処理を
して、冷蔵で保管。消費期限は2ヶ月です。



10月25日～11月5日

企画・デザインの再検討とブラッシュアップ

収穫・加工製造を体験した知見をもって、各チーム改めて試作のデザインを見直し、販売に必要なツール類も制作しました。



買われる方が選んだシールをラベルに貼って完成というユニークな企画



手提げ袋



土居・橋元・中山チーム



岩崎・北崎・大山チーム



ケースと手提げ袋



パンフレット





ポスター

ボトルの被せのデザイン、裏側には調理例を掲載



手提げ袋

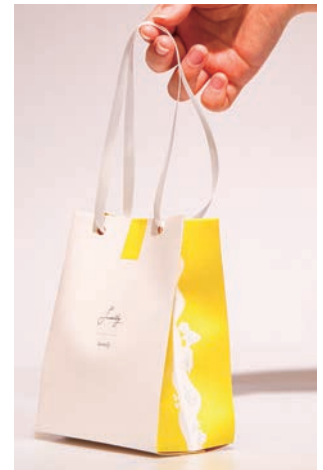


日高・富田・植村チーム

廣田・迫・中村チーム



パンフレット



手提げ袋



11月7日

販売体験

東広島市豊栄町乃美トムミルクファームの牧場で地元のマーケット“セントルマルシェ”のテントをお借りしてブースを作りました。観光牧場として週末は親子連れで賑わいます。その方々へ試食販売を行いました。

9:00	大学発
10:30	トムみるくファーム着／設営
11:00	販売開始
15:00	販売終了／後片付け
16:00	トムみるくファーム発
17:30	大学着

土居・橋元・中山チーム

買われる方に好きなキャラクターのシールを選んでいただき、ボトルのラベルに貼り込むことでデザインが完成する企画で、「かわいい!」と女性や子供たちにも人気でした。



岩崎・北崎・大山チーム

とてもユニークなネギの家族を描き、そのネギ家族の団欒をラベルやパンフレットに展開しました。お母さんネギのぬいぐるみは、道ゆく人のアイキャッチとして抜群の効果をだしていました。



おかげさまで全てのグループが完売御礼！

午前中、風が強くて風船が飛ばされたりしましたが、天気にも恵まれ、来場者からも好評でした。後日、来年リニューアルする道の駅で販売してはどうかと、商品化の話も出ました。新しい地域産品が生まれるかもしれません。

日高・冨田・植村チーム

試食に温かいポトフを用意し、喜んでいただきました。唯一、和風のデザイン展開で、完成度も高く、そのまま量販店にも出せるクオリティでした。



廣田・迫・中村チーム

風船を沢山膨らませて、ディスプレイと子供たちへのプレゼントも。パッケージはおしゃれ感を出し、ケースに入れる事によりギフトにも使ってもらえます。パンフレットも用意しました。

